

早期非小細胞肺癌に対する外科的治療のため、当院に入院・通院された患者さんの外科切除検体と診療情報を用いた医学系研究

研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 埼玉医科大学総合医療センター 職名 医師
氏名 小山 信之
連絡先電話番号 049-228-3461

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの外科切除検体と診療情報を用いた下記の医学系研究を、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を外来の担当医にお伝え頂くか、「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦2011年1月1日より2022年6月30日までの間に、当院呼吸器外科にて非小細胞肺癌の治療のため入院または通院し、外科的切除による治療を行ったI期非小細胞肺癌患者さん

2 研究課題名

承認番号 xxxxxxx

研究課題名 早期肺癌における Polycomb 蛋白 Enhancer of zeste homolog 2 (EZH2) 発現と S-adenosylmethionine (SAM) との関係に関する研究

3 研究実施機関

埼玉医科大学総合医療センター・呼吸器内科

研究責任者 小山 信之

埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 教授

4 本研究の意義、目的、方法

Enhancer of zeste homolog 2 (EZH2) は様々な遺伝子へ作用してがん化およびがんの浸潤・転移を促進するタンパク質と考えられており、肺癌をはじめとした複数のがんで、EZH2 と予後、進行病期との関連が報告されています。また、EZH2 は喫煙の影響を受けることが知られており、タバコによる機能

の亢進が報告されています。一方、EZH2が機能を発揮するには、S-adenosylmethionine (SAM) という生体内物質と結合することが重要であり、すでに結合を阻害する薬剤の開発も進んでいます。そのため、病変においてSAMが多いかどうかはEZH2の働きと関連している可能性が考えられます。また、私たちは早期肺癌に対するこれまでの研究から、喫煙者の肺癌組織におけるEZH2の多さとSAMおよびその関連分子が互いに関連している可能性が示唆されました。

以上から本研究では、喫煙者と非喫煙者の早期肺癌患者さんの外科切除後の肺癌組織においてEZH2とSAMの量を解析し、EZH2とSAMの関係、SAMと予後、臨床的な特徴との関連を明らかにすることを目的としています。

5 協力をお願いする内容

本研究では、診療情報として、診療記録、臨床検査データ、診断用画像情報、病理組織情報を使用します。また、病理組織検体として、当院にて2011年1月1日から2022年6月30日の間に外科的切除(手術)が行われ、当院病理部に保存されている肺癌組織を使用します。肺癌組織に対して、EZH2とSAMに対する免疫組織化学解析を行い、肺癌組織におけるEZH2とSAMの多さを定量化します。なお、本研究は、通常の臨床において診療記録に記載されている上記の情報と切除後の肺癌組織検体を用いて行う研究ですので、患者さんに本研究のために特別な検査や処置をお願いすることはまったくありません。

6 本研究の実施期間

病院長の実施許可日～2025年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名、患者番号および生年月日のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、診療情報の利用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

連絡先

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981 埼玉医科大学総合医療センター
担当 呼吸器内科 教授 小山信之
TEL: 049-228-3461(直通)(平日9時～17時)

以上